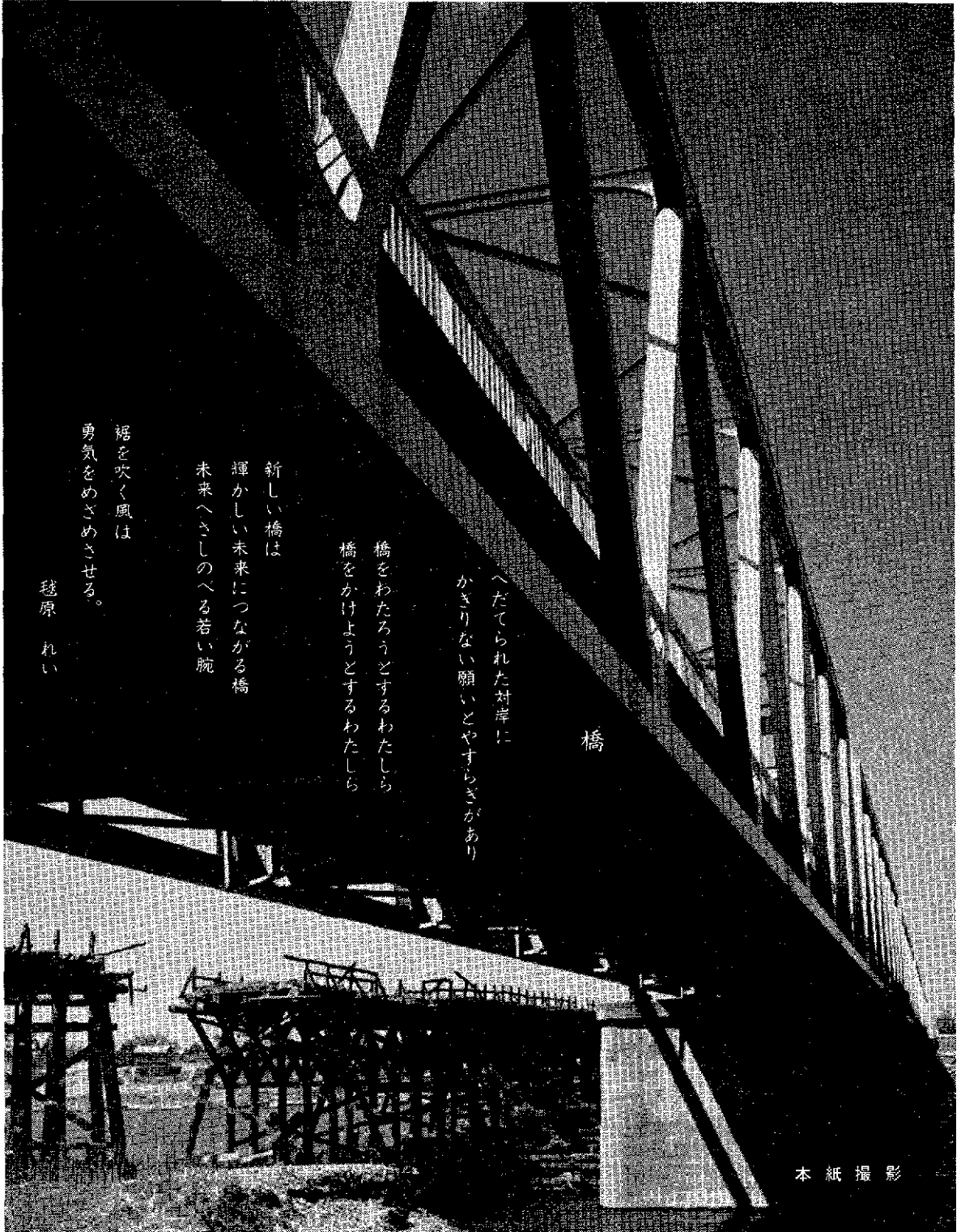


発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市学校町一・県庁本館社会教育課分室内】
【電話・(新潟)(23)5511 内線6911】
【振替 新潟 4094】

発行人 会長 吉津 勝栄
編集人 事務局長 本田 清
昭和41年6月15日発行(毎月1回15日発行)
【定価：部18円 年共・年権216円】

新潟県 公民館月報



橋

へだてられた対岸に
かきりない願いとやすらぎがあり

橋をわたろうとするわたしら
橋をかけようとするわたしら

新しい橋は

輝かしい未来につながる橋

未来へさしのへる若い腕

裾を吹く風は

勇気をめざめさせる。

球原 れい

ことしの施設国庫補助

期待はずれな館当たり補助

対象市町村は増えただけ

昭和四十一年度の公民館施設国庫補助の本県対象館はこのほど六館と内示があり、それぞれ一〇〇万円ずつが補助されることになった。前年度より三館ほど対象館は増加したものの、一館平均の補助額は、期待に反して低かった。施設国庫補助総額は増額しているながら一館当たりの補助額が増額しないという結果については補助申請館が大幅に増加しているという理由があるが、今後問題を抱えかけている。



(38年度に補助100万円を交付された黒埼村公民館)

本県の補助対象館は、東頸城郡牧村公民館、小千谷市片貝町公民館、刈羽郡小国町中央公民館、東頸城郡上田村公民館、西頸城郡青森町公民館、北頸城郡堀之内町公民館の六館で、いずれも一〇〇万円補助という内示であった。これを三十九年度の岩船郡神林村公民館の二五〇万円、同県門田公民館一五〇万円補助という実績とくらべると、補助率がかなり下まわっている。このため、当該市町村では、当初のおもわくがはずれて不満の意をもちしているところもある。このことは、四十一年度の施設国庫補助が、二億八千万円と四十年代に比し五千二百万円も増額しているところから、当該市町村では例年の補助対象になった規模

の同程度の対象館への補助額が下まわることになったという傾向を指摘している。また、例年施設規模に応じて補助額にもかなりの増減があり、建設費の高額なものは補助額も多額であったので、その意味からも、四十一年度の査定内容は「承しにくい点がある」としている。

このため、本会では、過般文部省ならびに県社教課の施設補助担当者へ補助決定までの経過について正してみた。この結果次のようなことがわかった。

県社教課では、当初文部省の書類は、金通の運動等が年毎に増一次査定内容が、本県は三館のみ類していくけれども、一館あたりこのように超過する本県の一館一率一〇〇万円補助という結果がでたわけである。施設国庫補助加算費を計上して前年度実績を下まわることのないよう努力中である。

分科会場は現場の公民館

静岡市で開く関公連大会

ことしの関東中信連公民館大会は、またまた八月二十六日(金)二十七日(土)の二日間、静岡市追分町県民会館を主会場として開催されることになり、このほかに分科会場がまた増えた。この関係大会は例年、各県大会から積み上げられた問題を、さらに全国大会に積み上げていくためのステップと

という連絡をつけたので、残りの補助額が前年と同規模の対象館三館もなんとかしてあげたい旨で、まわるといふ結果がでることかであった。当該市町村でも県には、補助対象館が増加しているとながされるようにして文部省には、研究の余地がありそうである。陳情したりした。ところが、文部省では当初各県の申請にもつき施設規模に応じた修正査定をしたのだが、その後における各県の復査要求の内容が、ますます厳しくなってきた。このため、統一した基準を適用することが困難になってきた。このため、文部省では、各県毎の当初の補助総額については大きな変更はできないが、補助対象館数と補助額を削減する方針を打ち出した。

また、記念講演では「社会開発と公民館」と題し、静岡県知事山本明氏が予定されている。本県からも多数の参加が期待される。

補助紙一〇〇枚程度(図グラフ等を含む)とし、その他に四半誌原稿用紙五枚程度の原稿を必ず添えること

(3)個人又は共同による作品であつて同一個人又はグループにつき二点に限る

2、送付先および補助科目

(1)送付先 東京都千代田区三年町5 内閣府内閣「21世紀の日本」係

(2)補助期 昭和四十一年一月三十一日

3、表彰

最優秀賞 内閣総理大臣賞および副賞(賞状)一名

優秀賞 関係大臣賞および副賞(二十万円)若一名

「21世紀の日本」論文募集

- 主催 内閣
- 1、募集論文
- (1)作品のねらい
- 来るべき二十一世紀の日本の姿を、今日の国民の期待と願望として描き、それを具体化するための方策を論ずるものとする。
- (2)21世紀の日本の国
- (3)21世紀の世界と日本
- (4)21世紀の日本の経済、社会と科学技術
- (5)21世紀の日本の教育

日本人と「〇〇時間」

毎日を時の記念日にしたい

青木 英治

時間を守ることが新生活運動の第一歩であるが私は常に主張し私なりに実践しているが、私(とき)ものがいくら主張し実践しても他人は動かない。

時の記念日(PTAの集会をやっても時間を守られるわけではなくて)文句をつげられるのが、多く農村部客の美談である。「この日の長い、農家の忙しむ時に七時に集まれとは無理だ、七時ごろはまた仕事をしている。夕飯がすめば八時近く来る。集まりが悪いのはあたり前だ!」

これこそ時間についての後向き姿勢といふものだ。

時の記念日(六月十日)が制定「破日」と「〇〇時間」ということされたのは大正八(一九一九)年(一九一九)ばか残っただけである。

記念日はあるけれども時間を守られない。休日でないからあまり喜ばない。休日でないからあまり喜ばない。休日でないからあまり喜ばない。

この記念日は世界でも日本だけではない。政府も地方の指導機関も時の記念日についてはPRを怠っていない。また実践運動を積極的に行っている。

今年(昭和四十一年)の時の記念日は、カレンダーにその文字が印刷された。NHKや民衆新聞など見られた。NHKや民衆新聞など見られた。NHKや民衆新聞など見られた。

ただ一つであった。政府と国会の審議状態を見ると、時間の大切なことを考えていない。国会の議事運営が定刻にすぎない。国会の議事運営が定刻にすぎない。国会の議事運営が定刻にすぎない。

国会の議事運営が定刻にすぎない。国会の議事運営が定刻にすぎない。国会の議事運営が定刻にすぎない。

ラジオやテレビの聴取、汽車の遅延、着替を日常生活に取り入れれば、集会的時刻を守ることが出来る。近時学校教育に放法が組まれて、時間が一層守られるようになつた。官庁の窓口も守られるが、これは退席時間だけで、朝や昼食休憩時間などは正確ではないといふ。

私(とき)が新津小学校に教員をして、たころ、教育会で社会教育講座を開いた。講師は建部遊吾文学博士であった。開講日は予定数が集まらなかつた。開講日は予定数が集まらなかつた。開講日は予定数が集まらなかつた。

終わりに、読者にお願。時間をよく守る団体、部会があるが、それが何年々、現在どうか。市町村ぐるみで時間を守ることが出来る。市町村ぐるみで時間を守ることが出来る。市町村ぐるみで時間を守ることが出来る。

この記念日は世界でも日本だけではない。政府も地方の指導機関も時の記念日についてはPRを怠っていない。また実践運動を積極的に行っている。

今年(昭和四十一年)の時の記念日は、カレンダーにその文字が印刷された。NHKや民衆新聞など見られた。NHKや民衆新聞など見られた。NHKや民衆新聞など見られた。

ただ一つであった。政府と国会の審議状態を見ると、時間の大切なことを考えていない。国会の議事運営が定刻にすぎない。国会の議事運営が定刻にすぎない。国会の議事運営が定刻にすぎない。

国会の議事運営が定刻にすぎない。国会の議事運営が定刻にすぎない。国会の議事運営が定刻にすぎない。

ラジオやテレビの聴取、汽車の遅延、着替を日常生活に取り入れれば、集会的時刻を守ることが出来る。近時学校教育に放法が組まれて、時間が一層守られるようになつた。官庁の窓口も守られるが、これは退席時間だけで、朝や昼食休憩時間などは正確ではないといふ。

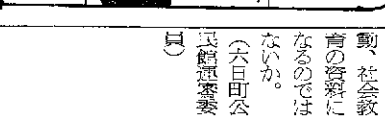
私(とき)が新津小学校に教員をして、たころ、教育会で社会教育講座を開いた。講師は建部遊吾文学博士であった。開講日は予定数が集まらなかつた。開講日は予定数が集まらなかつた。開講日は予定数が集まらなかつた。

終わりに、読者にお願。時間をよく守る団体、部会があるが、それが何年々、現在どうか。市町村ぐるみで時間を守ることが出来る。市町村ぐるみで時間を守ることが出来る。市町村ぐるみで時間を守ることが出来る。

終わりに、読者にお願。時間をよく守る団体、部会があるが、それが何年々、現在どうか。市町村ぐるみで時間を守ることが出来る。市町村ぐるみで時間を守ることが出来る。市町村ぐるみで時間を守ることが出来る。

お茶ッピ子

18. (客は忘れにここに... うっき、かす)



第13回「わが家の家計簿」体験談募集

主 催 財 務 増 強 中 央 委 員 会
後 援 N H K
〇 内 容
家計簿をつけ始めた前様や記帳上の苦心談
家計簿をつける喜びや家族の方々の協力
の模様
家計簿で発見したムリやムダ
家計簿によって家族生活をした結果、消
費内容に生じた変化
最近の物価高を家計簿記帳により、つま
く切り切った体験
家計簿をもとにした、これからの明るい
生活設計
グループによる家計簿記帳の勉強会
など

なんでも自由に書いて下さい。記帳経験の短い方でも、予算生活に至らない方でも、気軽に応募下さい。使っておられる家計簿はどんな形式のものでも結構です。

〇 原 稿
1、本文は四〇〇字前後(用紙五枚(二、三〇〇字)以内)
2、原稿に、応募者の住所、氏名(ふりがなを付ける)、職業、年齢、家計簿記帳年数のほか、同一家庭に家族、親表(応募者との続柄)、年齢、職業、就業状況などを添えて下さい。本文のほか最近三か月の記帳内容のわかる簡単な表を添えて下さい。応募原稿はお返ししません。封筒の表面に「家計簿体験談」を書いて下さい。

〇 し め 切 り 昭和四十一年八月二十日(土) (必着日)

〇 入 選 特選二編 賞金 各三万円
秀作七編 各二万円
佳作 四〇編程度 各五千元

〇 入 選 発 表 昭和四十一年十月下旬

〇 審 査 員 大沢英子(中央館長) 藤原委員
長(福民俊之) 中野委員 他

〇 送 り 先 都道府県貯蓄推進委員会

